

(別紙4(2))

事業所名 須崎つわぶき荘

作成日: 令和3年 8 月 27 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		防災にかかる地域連携が、明確になっていない。	災害時に協力を求める地域資源について明確にする。	災害時に協力を得られる地域資源について明確化し、連絡先一覧表を作成する。(連絡網を作成)	6ヶ月
2		外出支援の代替案が、バルコニーでの日光浴、外気浴に限られている。	ご利用者の状態に寄り添ったかたちの気分転換の方法について検討し、実施する。	郷里のお菓子を取り寄せたり、ご家族と連携してドライブを企画するなど、柔軟な姿勢で外出、またはそれに替わる支援を検討する。	12ヶ月
3		生活リハビリについて、専門職の介入がない。	生活リハビリを専門職の指導、アドバイスを踏まえたかたちで実施する。	PT,OT等、リハビリ専門職にご利用者方の生活を見てもらい、アドバイスを受ける。また、そのアドバイスをケアマネジャーはじめ全職員と共有し、書面化、実際のケアに反映する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。